



消費者の生活を支える 金融サービスの形成に向けて

株式会社マネーフォワード
グループ執行役員CoPA Fintech研究所長
瀧 俊雄



瀧 俊雄（たき としお）
グループ執行役員 サステナビリティ担当
CoPA Fintech研究所長

2004年に慶應義塾大学経済学部を卒業後、野村證券株式会社に入社。株式会社野村資本市場研究所にて、家計行動、年金制度、金融機関ビジネスモデル等の研究業務に従事。スタンフォード大学MBA、野村ホールディングス株式会社の企画部門を経て、2012年より株式会社マネーフォワードの設立に参画

一般社団法人電子決済等代行事業者協会	代表理事
一般社団法人日本金融サービス仲介業協会	理事
一般社団法人MyData Japan	ステアリングコミッティ・メンバー
一般社団法人Fintech協会	アドバイザー
内閣官房 デジタル行財政改革会議	有識者構成員
規制改革推進会議 スタートアップ・投資WG	専門委員
総務省「デジタル時代における放送制度の在り方に関する検討会」	構成員
経済産業省 認知症イノベーションアライアンスWG	メンバー 等

当社の概要

会社紹介

3

社名	株式会社マネーフォワード
設立	2012年5月
上場市場	東証証券取引所 プライム市場 【証券コード：3994】
本社所在地	〒108-0023 東京都港区芝浦3-1-21 msb Tamachi 田町ステーションタワーS 21F
支社	北海道支社、東北支社、 東海支社・名古屋開発拠点、 京都支社・京都開発拠点、 関西支社・大阪開発拠点、広島支社、 九州・沖縄支社、福岡開発拠点 ベトナム開発拠点（ハノイ、ホーチミン） インド開発拠点



当社サービス／利用者の概要

4

- 2012年創業、2017年上場（現在、プライム市場）
- Fintech/SaaSの領域で多様なプロダクトを展開

Vision

すべての人の、
「お金のプラットフォーム」になる。

Values

User Focus

Tech & Design

Fairness

主な提供サービス

	事業者向け	個人向け
経理・財務	 Money Forward クラウド会計  Money Forward クラウドインボイス	 Money Forward ME
HR	 Money Forward クラウド給与  Money Forward クラウド人事管理	Fintech  Money Forward Early Payment  Money Forward Kessai
その他 バックオフィス	 Money Forward クラウド契約  Admina  Manageboard	 Money Forward Pay for Business  Money Forward 請求書カード払い for Startups  Money Forward トランザクションファイナンス for Startups
SaaSマーケティング支援	 BOXIL SaaS  ADOX  BALES CLOUD	金融機関向け  Money Forward Fintech Platform

ハイライト (2023年11月期末)

課金顧客数
301,233
(前年同期比+27.8%)

ME利用者数
1,530万

連携金融関連
サービス数*1
2,540以上

SaaS ARR
(年間定期収益)
231.5億円

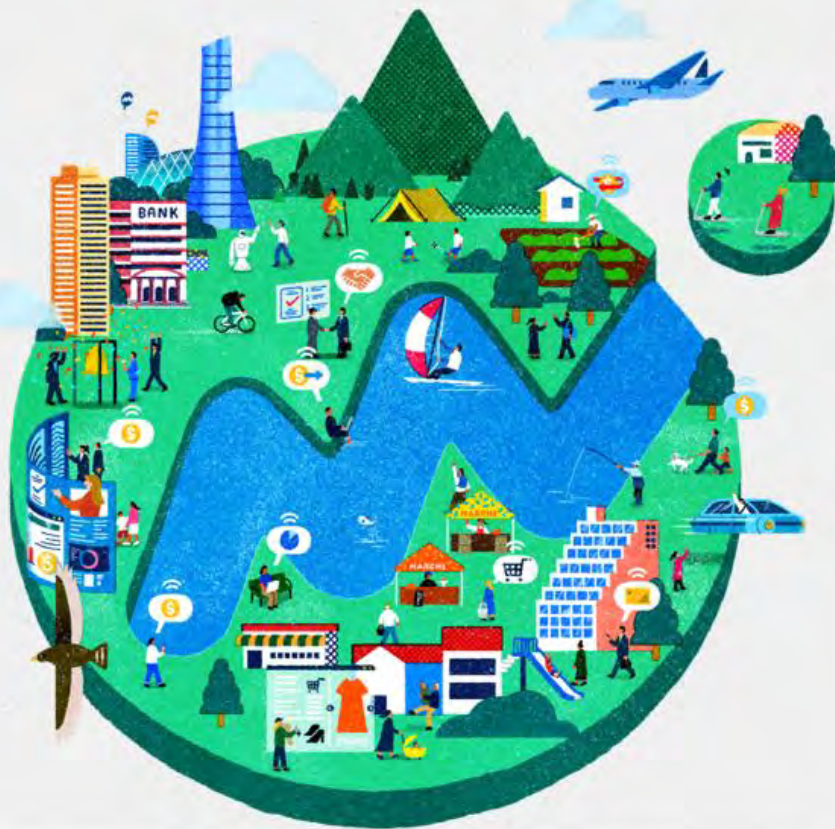
SaaS ARR成長率
前年同期比
+42%

売上高成長率
前年同期比
+41%

連結
従業員数
2,130名

エンジニア/
デザイナー比率
約4割

エンジニア
non-JP比率
約4割



MISSION

お金を前へ。
人生をもっと前へ。

VISION

すべての人の、
「お金のプラットフォーム」になる。

VALUES

User Focus | Tech & Design | Fairness

CULTURE

Speed | Professional | Teamwork | Respect | Evolution | Fun

当社サービスの概要と
提供する背景・経緯

マネーフォワードMEについて

7

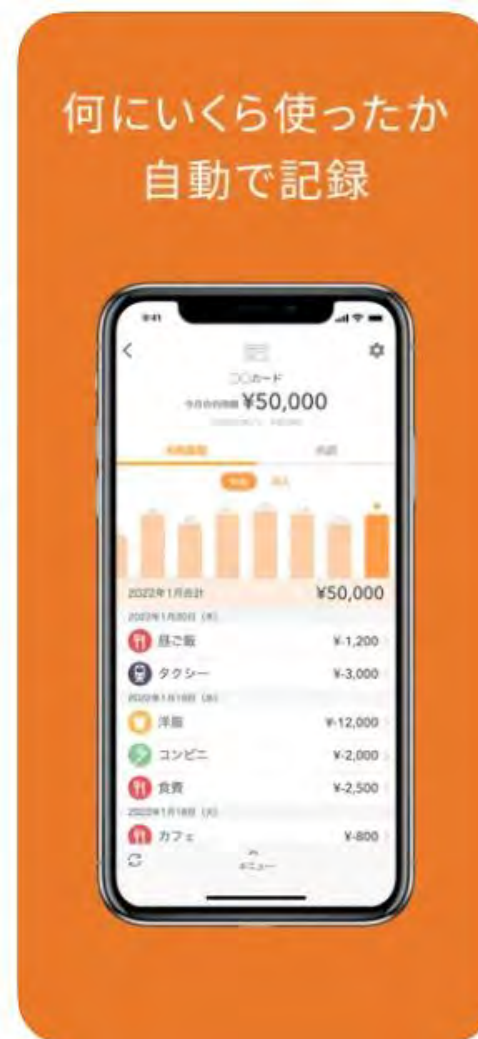
利用者数
1,500万人突破



利用率
No.1

家計簿アプリ
資産管理アプリ

※1. 利用人数は、2022年1月1日～1月31日までの期間に、マネーフォワードMEアプリをダウンロードしたユーザーの数を示しています。※2. 利用率は、マネーフォワードMEアプリをダウンロードしたユーザーのうち、マネーフォワードMEアプリを利用しているユーザーの割合を示しています。※3. 家計簿アプリは、マネーフォワードMEアプリの機能の一つです。※4. 資産管理アプリは、マネーフォワードMEアプリの機能の一つです。※5. 本アプリは、株式会社マネーフォワードが提供しています。©2022 Money Forward Inc. All rights reserved.





資産管理

さまざまな金融関連サービスと連携させることで、資産状況を種類ごとにグラフ等で確認することができます。



家計簿

自動データ連携と手入力により、毎月の家計状況を見える化。支出はカテゴリごとに分類できます。



予算管理

毎月の貯蓄目標額に応じて、毎月の予算を固定費・変動費のカテゴリごとに作成することで、カテゴリごとの予算が見える化できます。



課題解決のための 関連サービス

さまざまな関連サービスを提供。今後は『マネーフォワードME』とのデータ連携を強化し、さらなるお金の課題解決を推進します。

有料サービスの概要

9

- 年額5,300円にて、制限なしの管理機能を提供

	 無料会員	 スタンダード	 資産形成アドバンス
料金 *1	0円	月額 500円 年額 5,300円	月額 980円 年額 10,700円
データ閲覧可能期間 *2	過去1年分	制限なし	制限なし
連携可能数	4件まで	制限なし	制限なし
グループ作成	1件まで	制限なし	制限なし
連携口座の自動更新頻度	-	高い	高い
連携口座の一括更新 *3	×	○	○
カードの残高表示	×	○	○
家計資産レポート	×	○	○
資産内訳・推移グラフ	×	○	○
広告非表示 *4	×	○	○
CSVダウンロード	×	○	○

*1 Web版サービスの料金。iOS・Androidアプリを通じてプレミアムサービスに登録する場合は、アプリ内に表示されている金額になります。

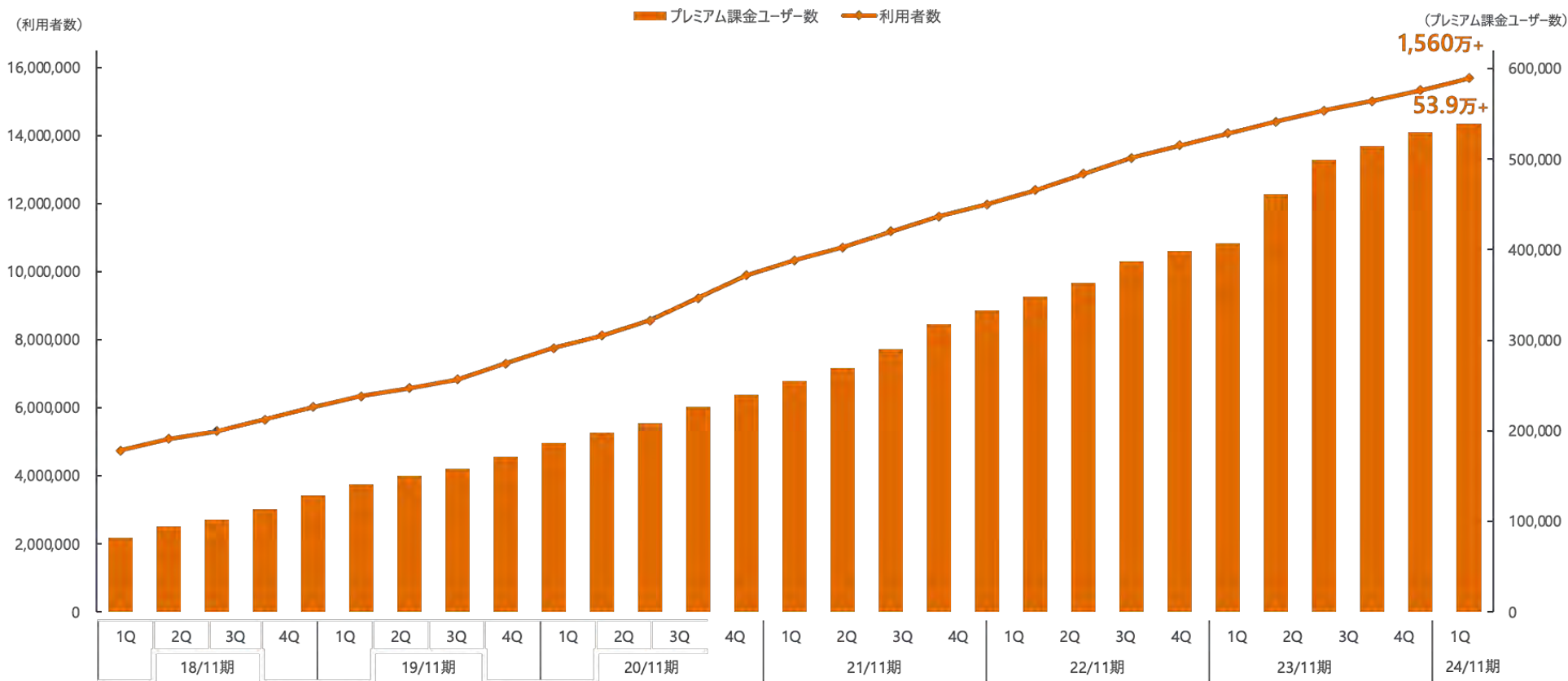
*2 取得済のデータが対象となります。

*3 一括更新対象外の口座が一部あります。

利用者数は1,560万人、課金ユーザーは53万を突破

10

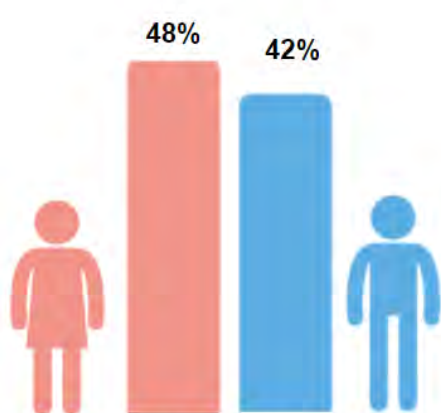
有料家計管理サービスは、世界的にも珍しい規模



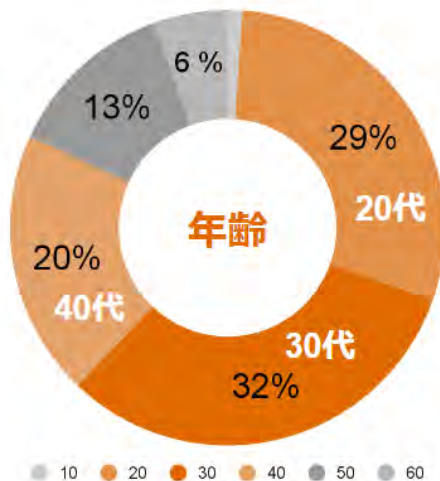
利用者の属性概要

11

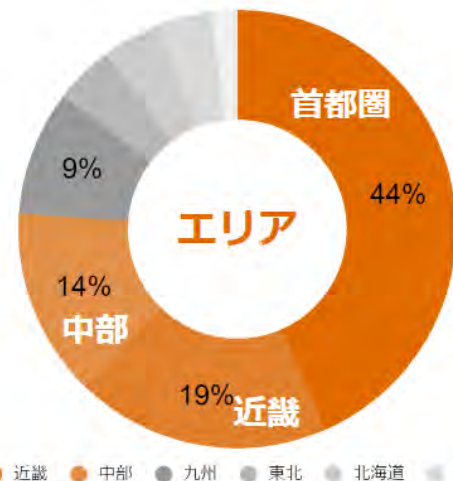
- 20～40代を中心に、家計管理では主婦層、資産管理ではビジネスパーソンなど目的別に多様な利用イメージ



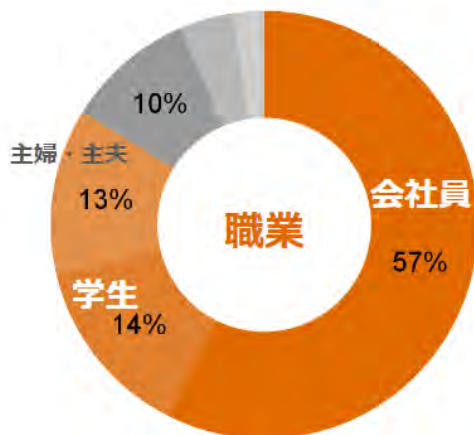
※不明回答：10%



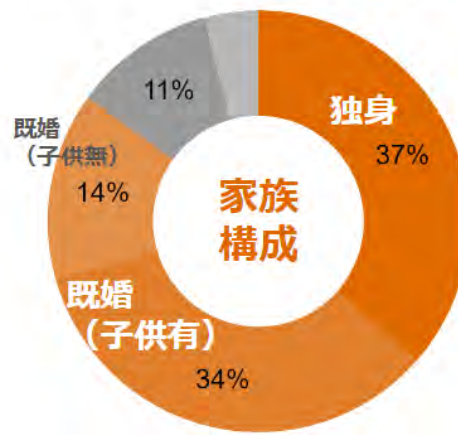
10 20 30 40 50 60



関東 近畿 中部 九州 東北 北海道 中国 四国



会社員 学生 主婦・主夫 その他 自営業 現在は仕事をしていない



独身 既婚（子供あり） 既婚（子供なし） 親と同居 その他

※2023年1月時点

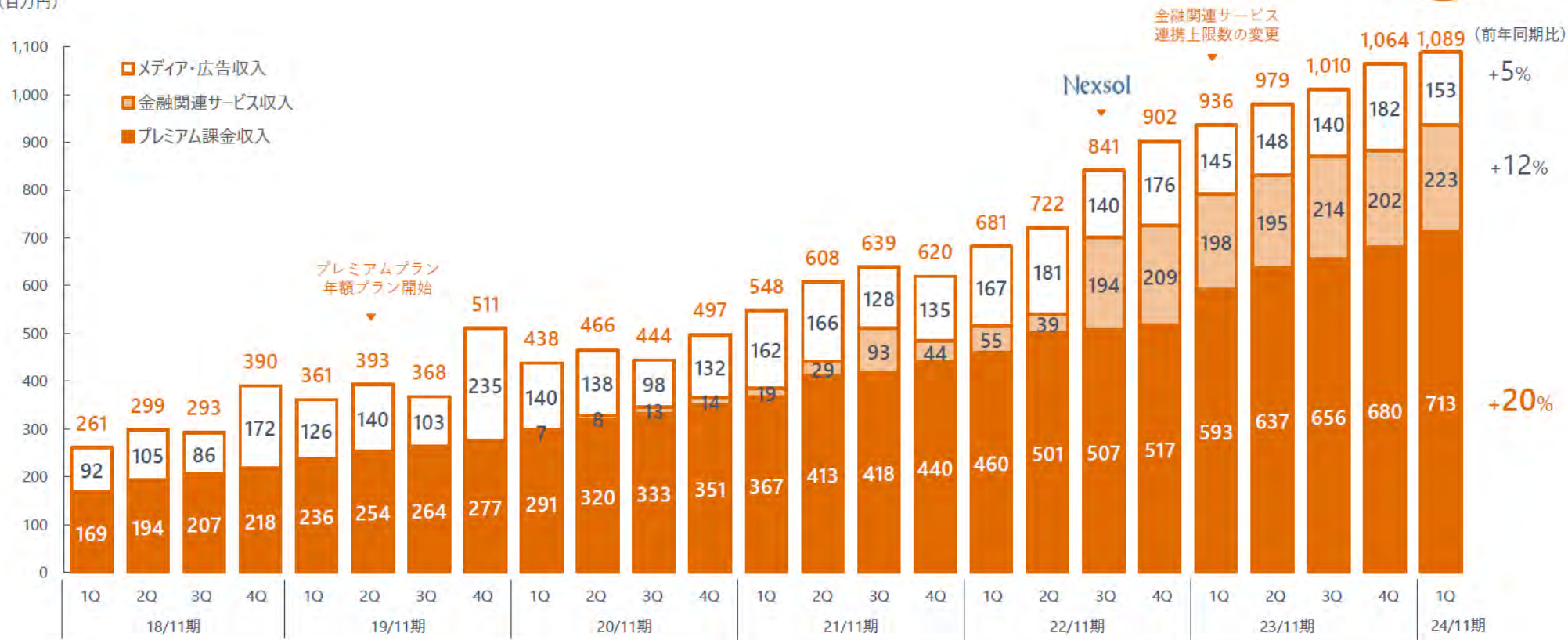
売上の大半はプレミアムサービス利用料が構成

12

『SUSTEN for マネーフォワード』の提供を開始。**アセットマネジメント領域への機能拡大**によりユーザーへの提供価値向上を目指す。
『マネーフォワード ME』と『マネーフォワード クラウド確定申告』を併用するユーザー数も継続的に向上。

前年同期比
+16%

(百万円)



* 金融関連サービス収入は、『マネーフォワード お金の相談』、『マネーフォワード 固定費の見直し』、Next Solution社の収入など。



すべての人が本当にやりたかったことに
チャレンジできる社会をつくる。
それが未来に向けた
責任を果たすことにつながる。

私たちが社名にも掲げる「お金」は向き合うことが難しいテーマです。人類にとって道具にすぎないこの概念に、私たちは、先行きの見えない恐怖、不安、不平など、挫折といったネガティブな想いを投影するだけでなく、見たくない情報として蓋をしてしまうこともあります。

日本社会では、特に少子高齢化に関連してさまざまな社会課題があります。個人においては、社会保障制度への不安や、長生きに備えた資産形成、高齢期の資産保護といったテーマが存在しています。また、事業者においては、働き手が不足する一方で、デジタル化や経営情報の活用が進まなければ、成長することはおろか、将来の経営の見通しを立てることもたいへん困難になります。このような課題の常態化

は、本来すべき意思決定や行動を遠ざける、長期的なストレス

となるのではないのでしょうか。現にこれらの結果として、

お金に関する展望が望めないことを理由に、結婚や出産をあきらめたり、やりたかった仕事を選べない、といった社会的損失が生まれています。

Sustainability

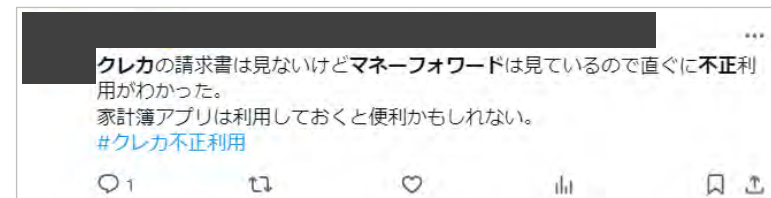
サステナビリティ

私たちはこの社会的閉塞を変えられると思い、マネーフォワードを創業しました。「お金」には本来、状況や選択肢、ゴールのイメージなどを誰にでもわかりやすく伝えることができる「尺度」としての重要な機能があります。もし、誰でも自分のお金の現状把握ができ、使いやすい金融サービスや適切な専門家へのアクセスを確保できれば、すべての人が、真に問題解決につながる行動を取れたり、本来やりたかったことに集中できることになります。仮にそのようなサービスがあれば、ユーザーは「お金」を不安の根源としてではなく、行動するための「尺度」として捉えられるようになるはずです。そのようなサービスを開発・提供すべく、マネーフォワードはお金の見える化をするアプリに始まり、作業の自動化や、その先にあるお客さまのビジョンを叶えるためのサービスを展開してきました。

自動同期で口座確認ができることの重要性

15

支出の一覧やアラートメール、プッシュ通知により、自分の口座を遅滞なく管理・監視できる



本人のための情報整理を行う

16

- 金融機関側のアプリは、クロスセル／リボ払い／商流強化のための場でもある
- 利用者の代理人としてのアプリは、金融サービス側の事情に流されず、利用者のウェルビーイングに向けてサービスを提供できる

〇〇銀行

日本橋本店 円普通 3901764

口座残高
124,000 円

外貨定期預金
1年もの

米ドルなら
年利 年 **5.3%**

振込

定期預金

外貨預金

口座情報

カード
ローン

定期預金

△△カード

△△モバイル 申込で **30,000**ポイント！

！リニューアルした△△アプリについてご意見をお聞かせください！

【紹介キャンペーン】△△カードを紹介した方とされた方に合計15,000ポイント進呈中！

△△カード * * * * 5193
お支払日 2024/4/30
¥ 72,000円

リボ払い
金額を決めてお支払

分割払い
回数を決めてお支払

自動リボ払い
毎月一定額のお支払

ネットキャッシング
最短数分からお振込

××カード

××カード
...4649
カード番号

3月のご請求額
支払い日: 2024年4月27日
仮確定 **24,000円** >

支払方法 〇〇銀行
支払金額調整
4月25日19時59分まで [調整する](#)

5月以降
未確定 **32,000円** >
支払い日: 2024年5月27日以降

×× 来月のポイント付与率を確認する
Pay ーカードご利用分でもザクザク貯まる

ご利用可能額 あと1,672,351円 >

家計簿アプリ

〇〇銀行残高
124,000 円

カード請求額 計
96,000円

△△カード請求額 4月30日予定
72,000円

××カード請求額 4月27日予定
24,000円

- 見える化を通じた節約への誘導
- 固定費削減を主とした家計改善のサービスも提供
- 改善した家計から、投資に向けたアクションも促す。
利用者の投資資産比率は日本平均の2倍以上

サステナビリティ指標

マテリアリティ		サステナビリティ指標	
User Forward	事業者	事業者向けバックオフィスSaaS 課金事業者数 ^{*1}	235,798
		『マネーフォワードクラウド』 法人顧客解約率 ^{*2}	0.8%
		『マネーフォワード ケッサイ・アーリーペイメント』 累計取扱高 ^{*3}	1,352 億円
		マネーフォワードX 提携企業数 ^{*4}	67 社
	個人	『マネーフォワードME』 家計改善実感年額 ^{*5}	28.1 万円
		口座連携資産運用額 ^{*6}	7.7 兆円
		口座連携金融資産額 ^{*7}	17.3 兆円

- 現在と将来の、保全と自由を確保すること
- そのために、将来の解像度を上げつつ、採りうる手段の理解と改善を促すことが重要

米CFPBによるフィナンシャル・ウェルビーイングの4要素

	現在	将来
生活の保全	日次、月次の収支を管理できている	何らかの金融ショックを吸収できる能力がある
選択の自由	人生を楽しむための金銭的自由がある	金銭面での目標に向けて、順調に進んでいる

個人向け事業のミッション



米CFPBによるフィナンシャル・ウェルビーイングの4要素

	現在	将来
生活の保全	日次、月次の収支を管理できている	何らかの金融ショックを吸収できる能力がある
選択の自由	人生を楽しむための金銭的自由がある	金銭面での目標に向けて、順調に進んでいる

Money Forward ME

Money Forward 固定費の見直し



保険料や電気代などの「固定費」の削減をサポートすることで、個人の家計改善を促進するサービスです。

Money Forward お金の相談



自分の好きな時間や好きな場所で、ファイナンシャルプランナーに無料でお金の悩みを相談できます。

Nexsol



ファイナンシャルプランナーによる相談サービスを提供するNext Solution社との連携により、『マネーフォワード お金の相談』における、提供価値のさらなる充実を目指します。

- 「家族に残す資産(お金や情報)の活用において迷いのないソリューションを提供する」をビジョンに提供
- 相続の「やることリスト」、「相続財産シミュレーション」、「家族とお金のリスク診断」の3ツールを提供

やることリスト
一歩ずつ完了させていきましょう！

これからやる 完了したもの

死後の手続

亡くなられた方の命日
2023年6月18日 [編集](#)

国保・介護保険資格喪失届けの提出 [>](#)
対応期限：あと11日

世帯主変更届の提出 [>](#)
対応期限：あと11日

**相続財産
シミュレーション結果**

誰にいくら相続される？

配偶者

相続資産	2,750 万円
相続税	0 万円
控除により税金は発生しません >	

子ども 1人につき

相続資産	2,750 万円
相続税	45 万円
! 税申告が必要です >	

兄弟姉妹 1人につき



**認知症の事前対処で
大幅に負担を減らせる
可能性があります**

想定されるリスク

 **認知症**

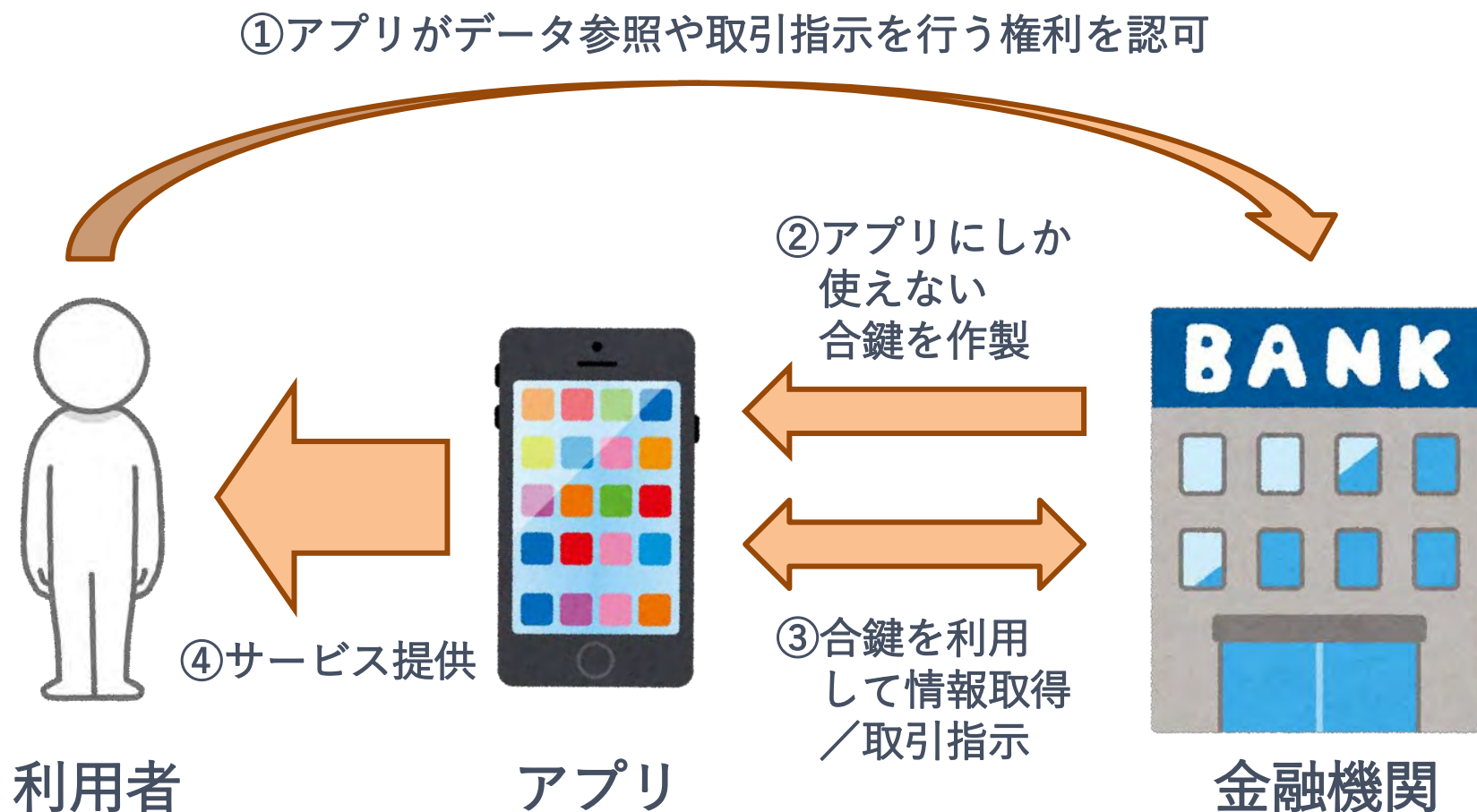
銀行口座等が凍結されてしま

用いている
デジタル技術・制度の概要

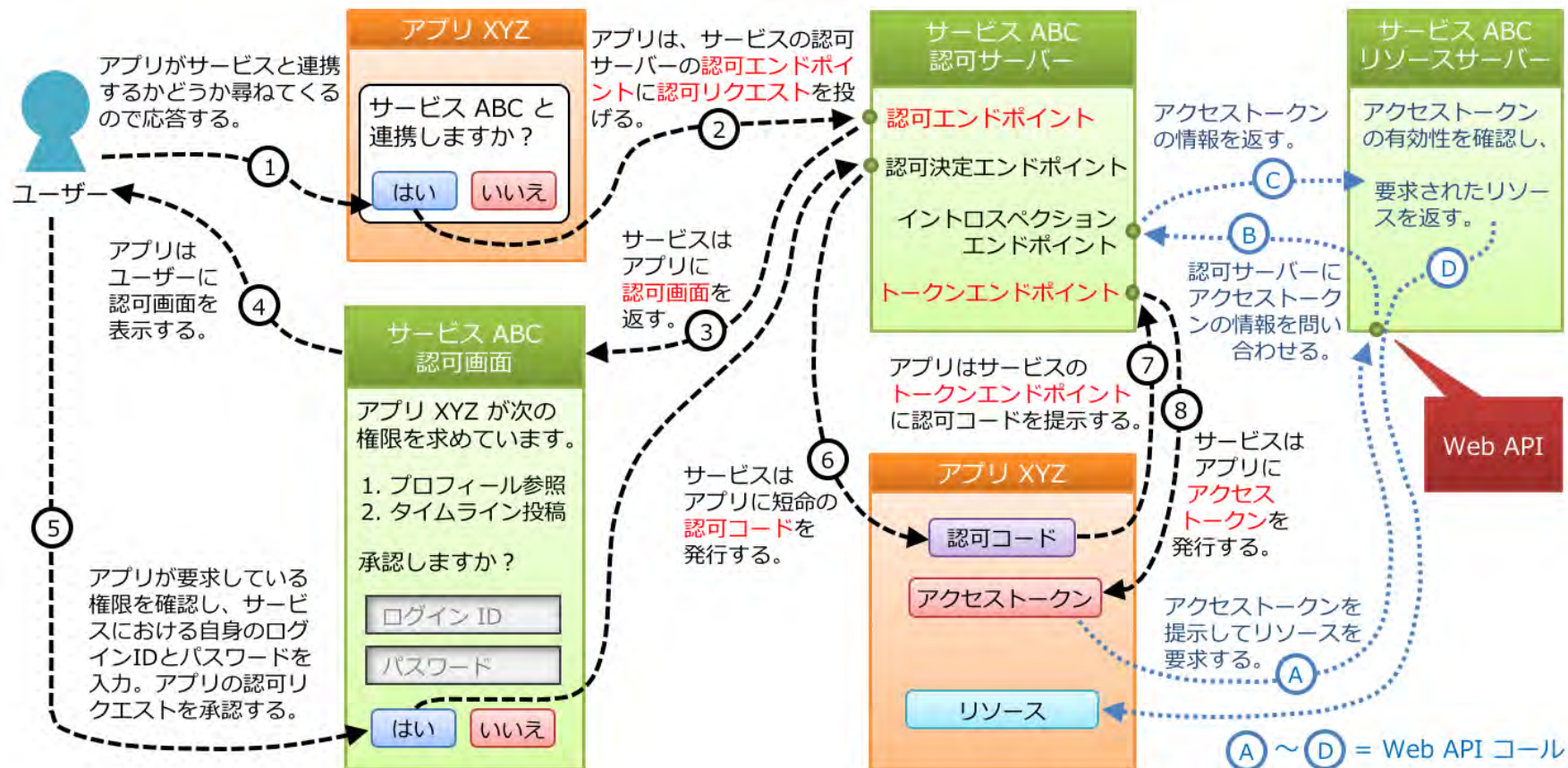
- ユーザーの同意に基づきデータを収集するアグリゲーション技術
- お預かりするデータを安全に保護するセキュリティ体制
- データの価値を実現するサービスデザイン

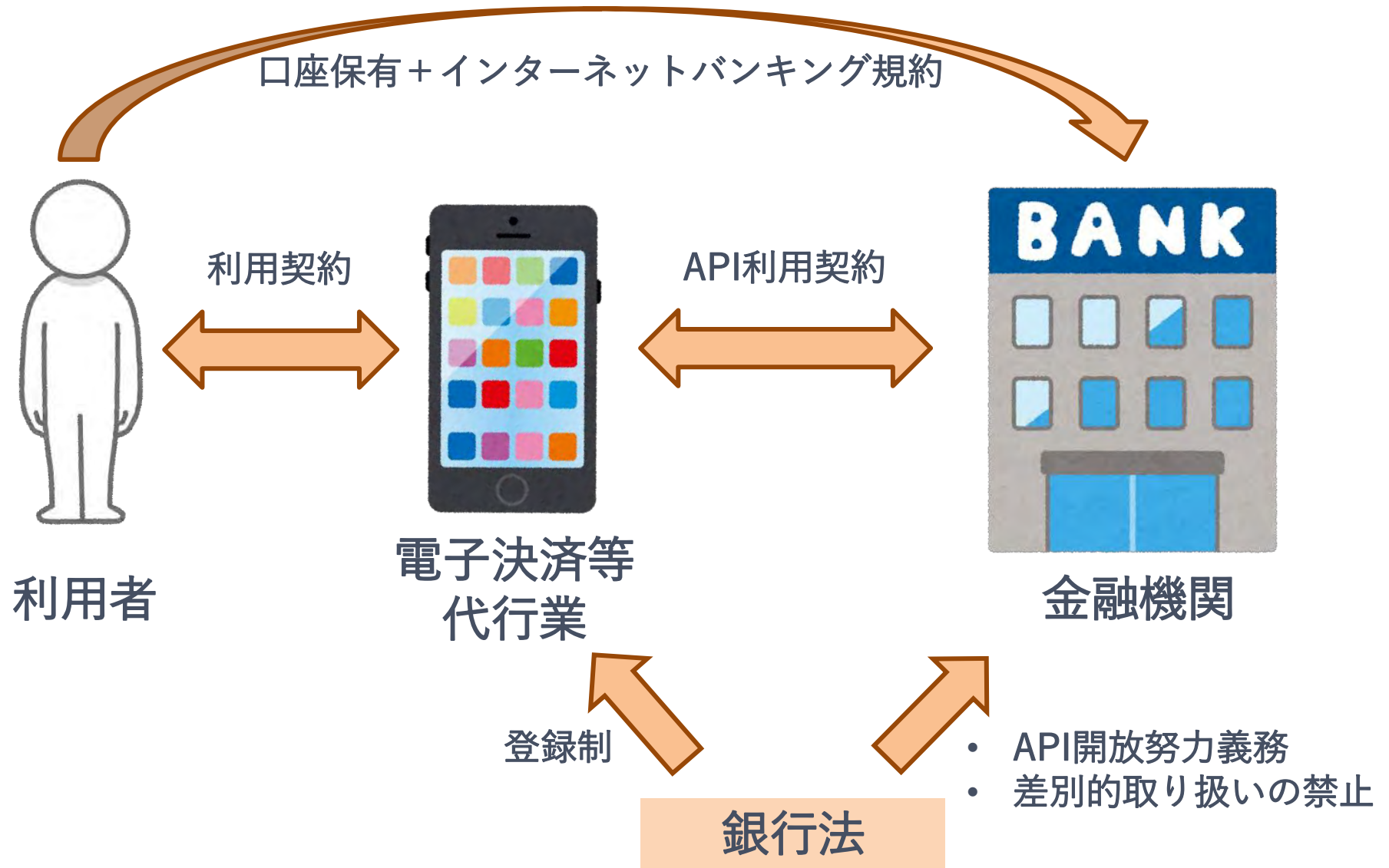


- 信頼できるアプリに合鍵を作製
- 合鍵を利用して、利用者のためにデータ参照／取引指示

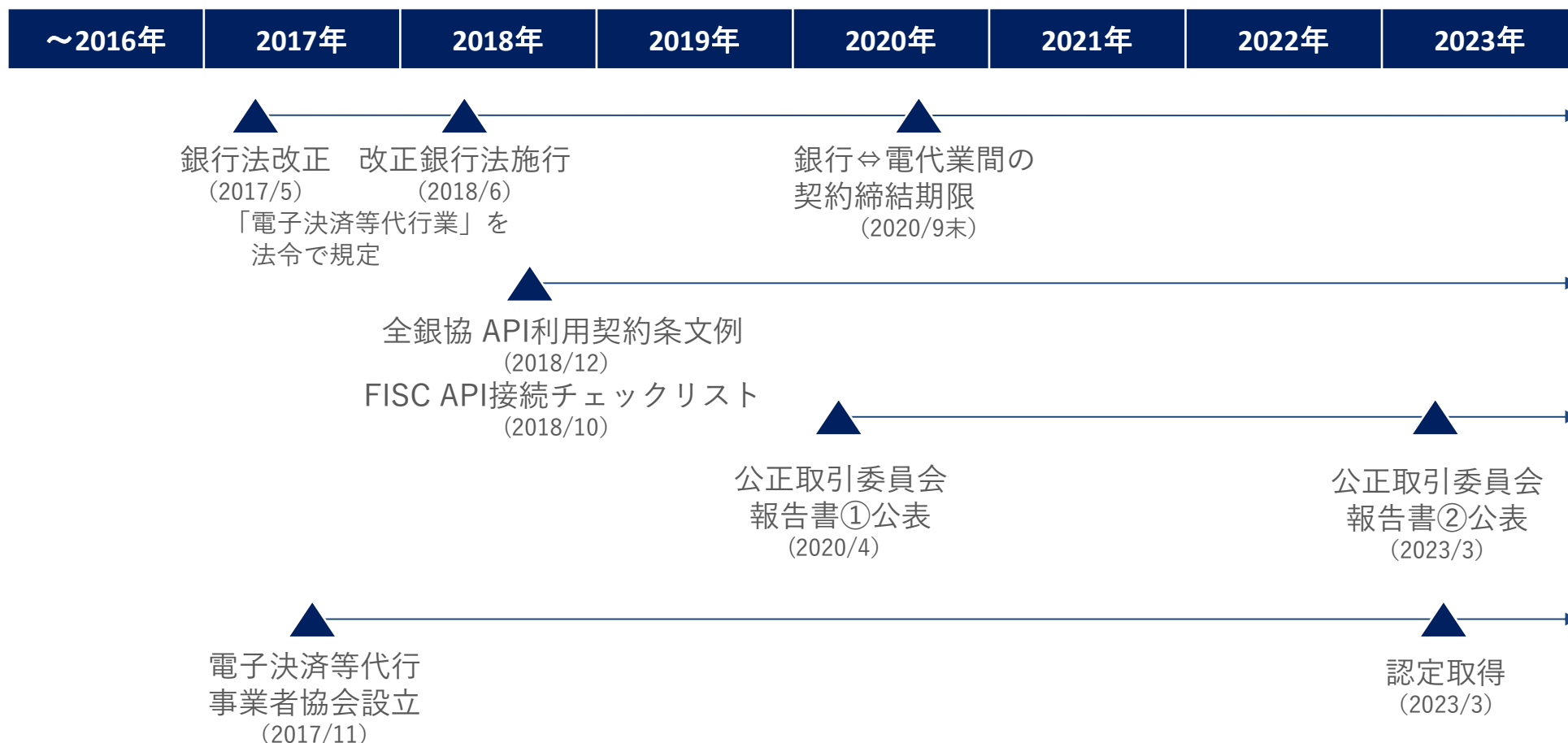


Authorization Code Flow (RFC 6749, 4.1)





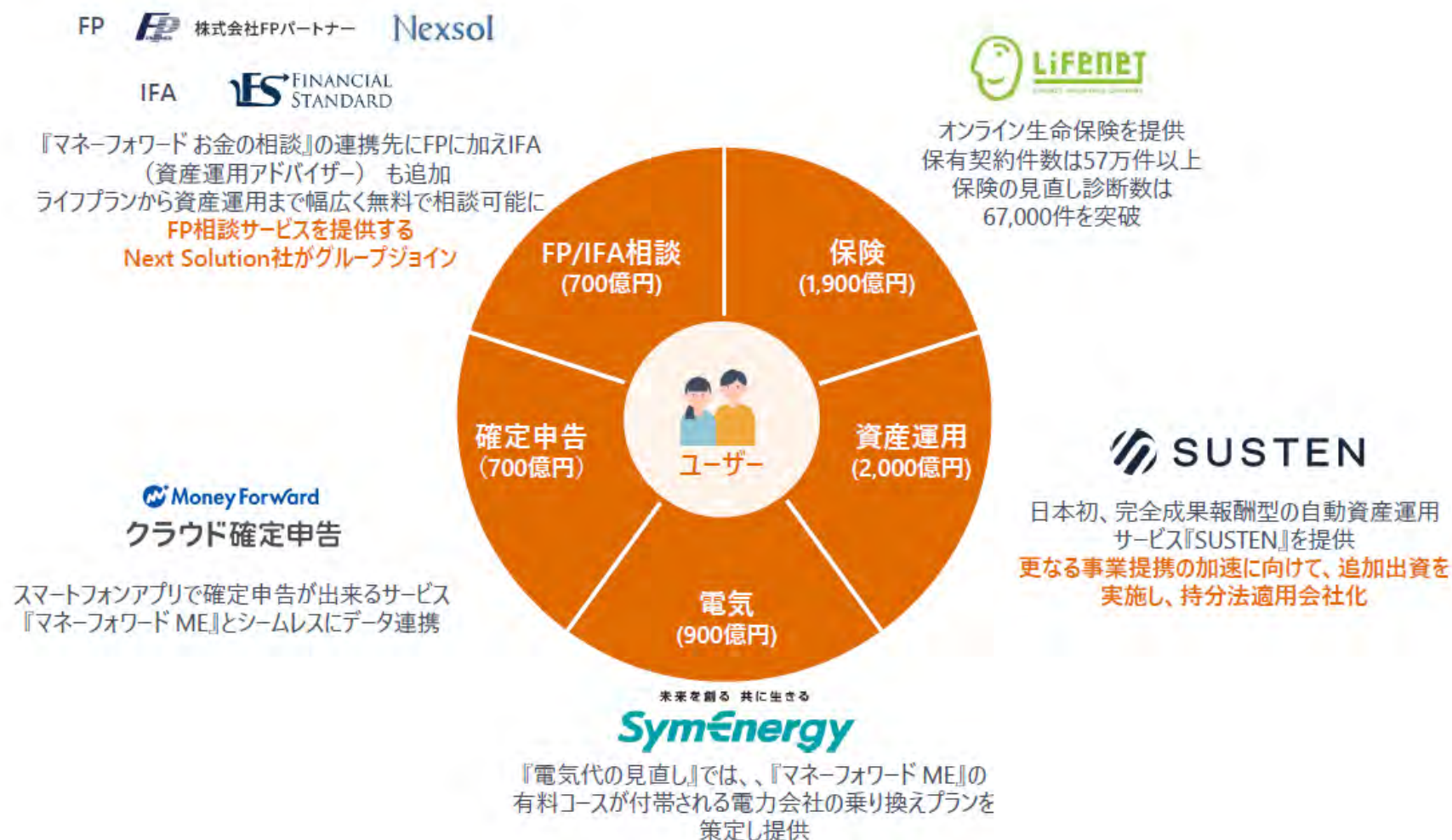
- 電代業⇔銀行間では個別契約（100以上）が必要となるため、様々な標準化を実施
- 2018年より新たに誕生した業を円滑に運営するため、電代業者による自主規制機関を設立。2023年に自主規制機関としての金融庁認定を取得
- 制度開始以来、重大なセキュリティ事故は発生していない



サービス成長の今後の見通し

28

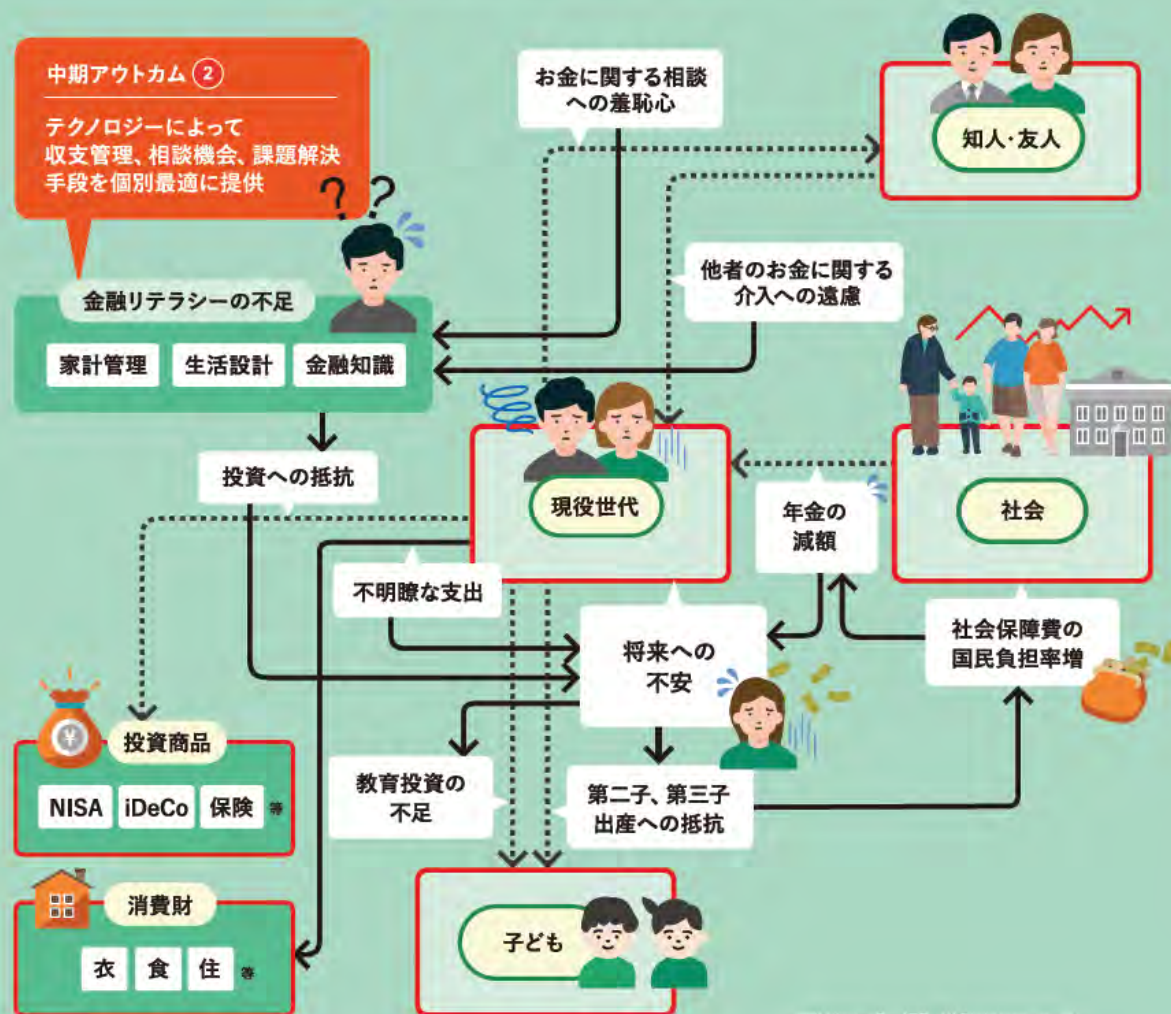
- 見える化の先で、実際にお金の課題を解決するサービスを増やしていく
- 固定費の削減、資産形成の促進、安価で本質的なサービスへの誘導を実施



消費者支援への活用可能性

「金融リテラシーの不足による子育て・教育への影響」の構造化マップ

アウトカム②は異なる課題構造の解決に資するため、今回の構造化マップでは未記載



©Wildriver Co., Ltd. All Rights Reserved

(出所) 「コモンズ・インパクトファンド
～共創～」アニュアルレポート (2023年9
月公表) より、画像引用

**長崎県立学校ホームページ**
Nagasaki Prefectural Schools

色合い 白 黒 青 文字サイズ 標準 拡大 Google カスタム検索 検索

ホーム 学校案内 学校（校種別）で探す 学校（市町別）で探す カレンダーで探す

[希望が丘高等特別支援学校のトップページへ](#) このページを印刷する

メニュー

- 授業風景
- 学校行事
- 生徒会

金融教育を実施しました

2024年2月7日更新

令和6年2月6日（火）、全学年を対象に金融教育を行いました。

この授業は、家庭科の「消費生活・環境」、社会科の「私たちの消費生活」、数学科の「数と計算」、情報科の「情報モラル」4つの教科の金融教育に関わる単元を合わせた新しい取り組みです。

講師は、マネーフォワード社 瀧 俊雄 様 です。



「上手なお金の使い方」というテーマで、「最近買った／買ってもらったもの」、「買い物をするときに気を付けること」、「電子マネーを使用する際に気を付けること」についてお話していただきました。

瀧さんの問い掛けに、多くの生徒が積極的に挙手をして、自分が買ったものや買い物に関するエピソードを嬉しそうに話していました。

- 老後生活におけるBS/PLを推計し、解像度の高いライフプランニングを提供すること



(出所) 当社資料より引用

年金アプリ(公式)のイメージ(検討中の案)

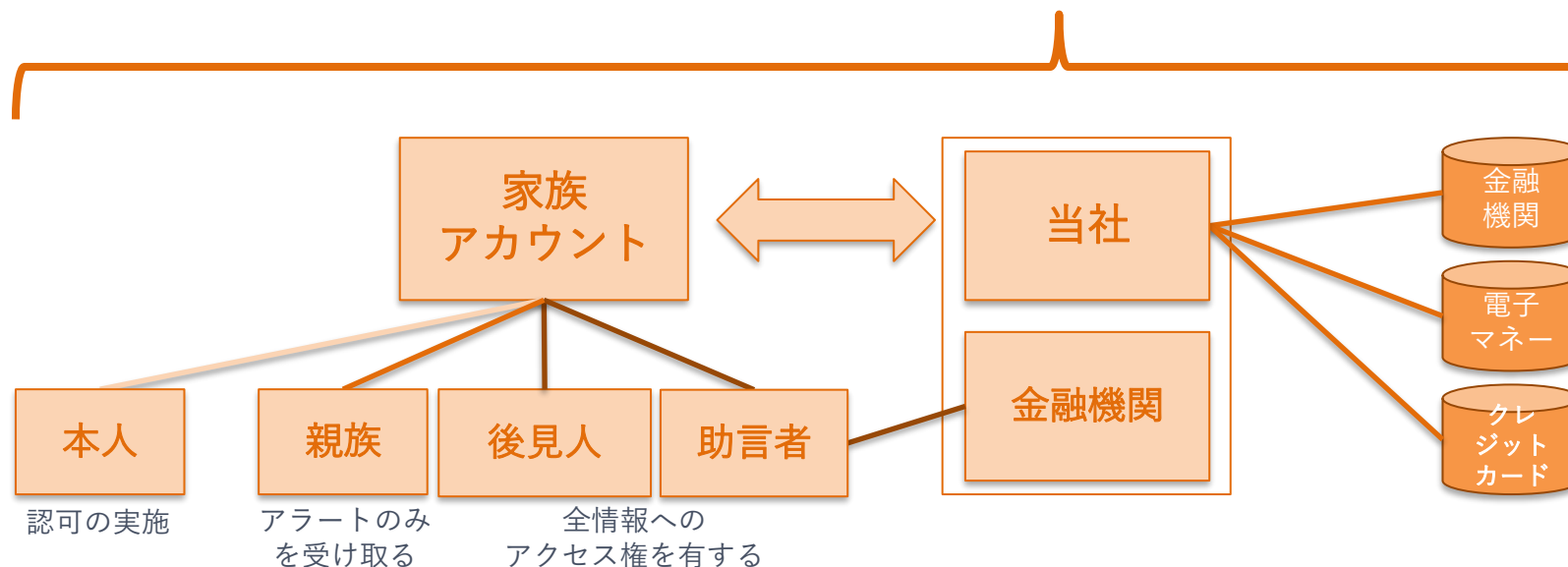
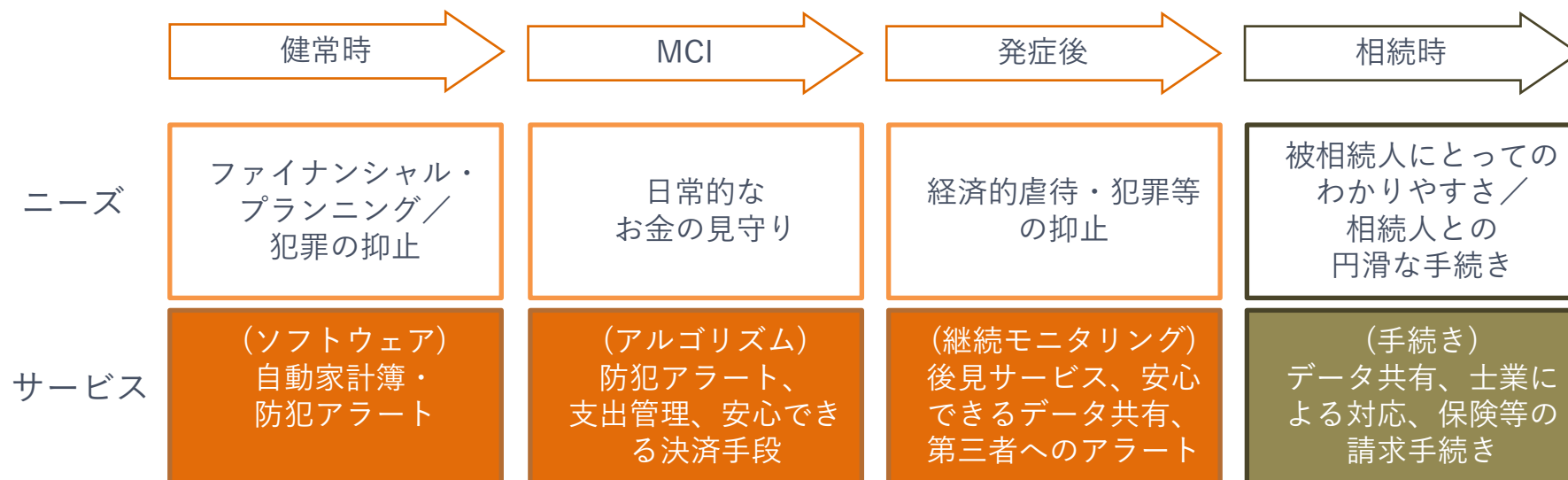
令和2年改正年金法の趣旨をわかりやすく正確に伝え、かつ、公的年金、私的年金等を通じて個々人の現在の状況と将来の見通しを全体として「見える化」するための仕組みを検討。



※年金アプリは令和2年度開発、運用実験は令和3年度

※その他、年金ポータルや被用者保険の適用拡大のために設置する特設サイトとの接続による、わかりやすい年金情報の提供等を順次検討予定

(出所) 厚生労働省資料より引用

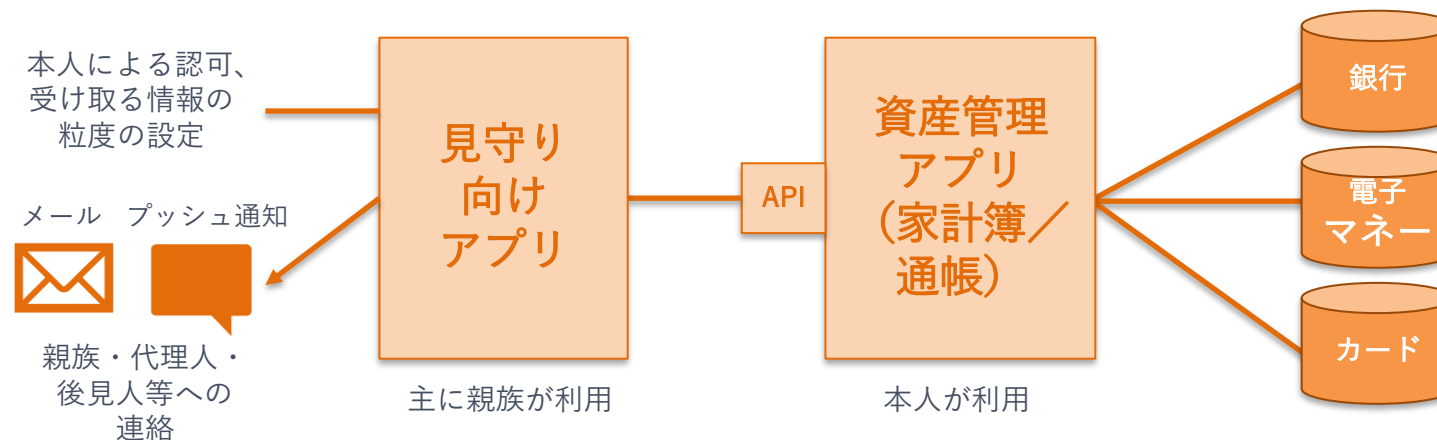


- 一定金額以上の支出についてのメール配信
- 継続で支払いが行われているケース

アラートメール

想定外の入出金にも安心。カードの引き落とし額や入出金額をメールでお送りします。

カード引き落とし金額	
受信設定	☒ 受け取る → サンプル
条件	引き落とし日の 3日前 に通知
入金額	
受信設定	☒ 受け取る → サンプル
条件	入金額が 1200 円以上の場合に通知 * 金額は1,000円以上、999,999円以下で入力してください。
出金額	
受信設定	☒ 受け取る → サンプル
条件	出金額が 1000 円以上の場合に通知 * 金額は1,000円以上、999,999円以下で入力してください。



- 日常的な購買履歴に関する、サマリーデータ（総額、頻度、異常状態の検知）を親族やケアマネージャーに通知するサービスを実験
- データフィード元のアプリとしてはマネーフォワード等を利用
- 見守り対象は初期だけサービスを設定し、主なユーザーは親族やケアマネージャーを想定

(参考) サブスクの見える化レポート機能 (2022.12)

36

- 前月の支払い状況を把握し、家計改善に繋がっていただけるレポート機能
- 不正検知、不正ではないが顧みるべき支出、不正発生後の返金申し込み機能なども、サービスの延長線にある可能性

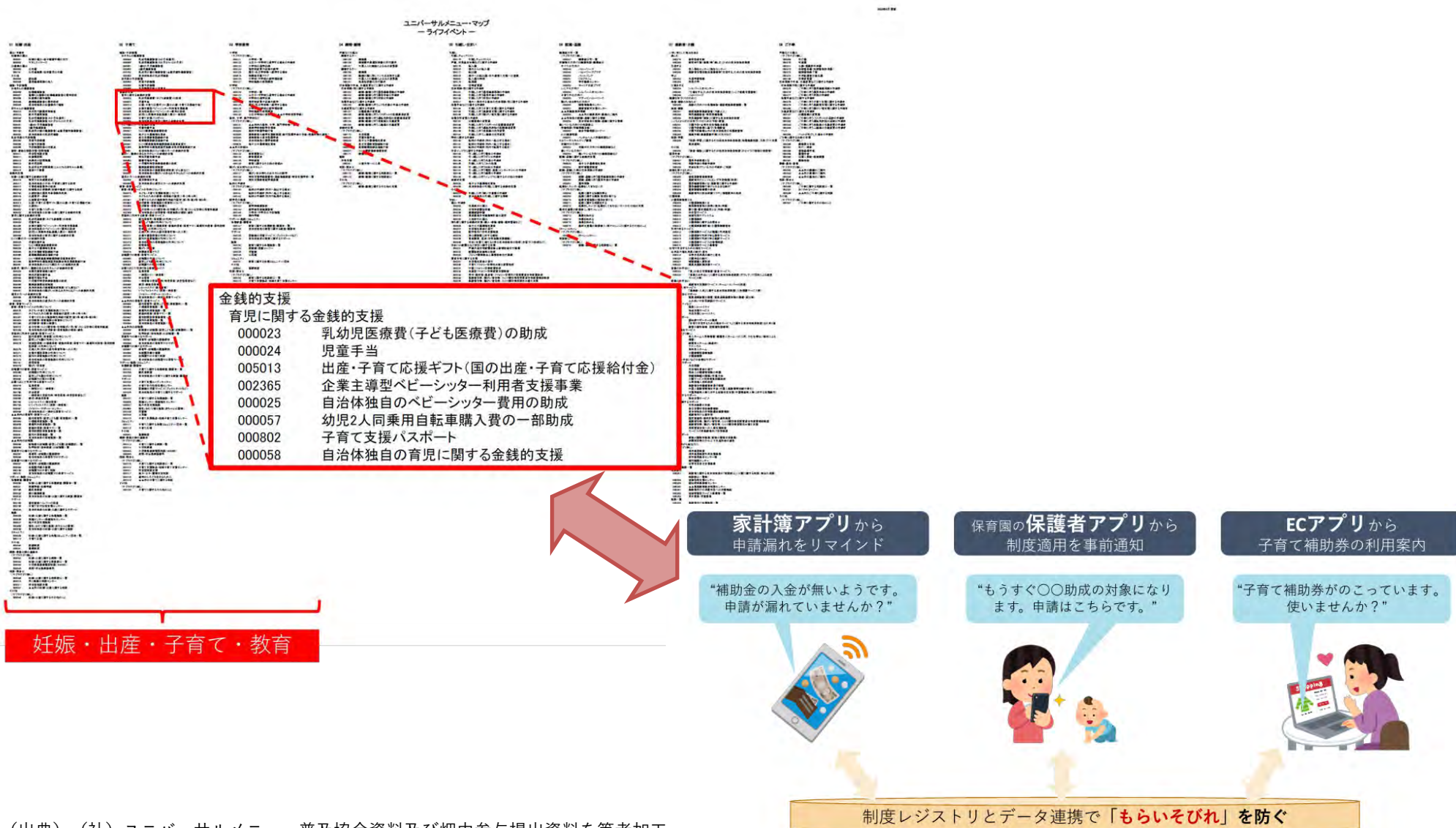


厚生労働省 平成30年度
生活困窮者就労準備支援事業費等補助金 社会福祉推進事業

家計情報のビジュアル化と相談者自身のための 簡便な家計管理アプリ等の調査研究事業報告書

グリーンコープ生活協同組合連合会

	年齢	性別	スマートフォン 所有年数	利用 アプリ数	ネット 登録 バンク	ネット ショッピング 利用	カード 利用	クレジット カード 所有	家計簿 アプリの 経験	マネー ワード アプリ への関心
①	25	女	5	2	※○					
②	28	女	8	6				○		
③	29	女	7	4		○		○		○
④	30	女	8	3						
⑤	33	女	7	50		○		○		
⑥	36	女	8	3		○	○	○		
⑦	39	女	10	10		○		○		
⑧	40	女	5	1						
⑨	42	女	3	3		○				○
⑩	42	女	9	3						
⑪	43	女	10	5	○			○		
⑫	43	男	10	4						
⑬	48	男	1	1		○		○		
⑭	49	男	5	4				○		
⑮	58	女	3	3			○	○		
⑯	65	女	1	4			○	○		
計		女13			2	6	3	10	0	2
平均	41	男3	6.3	6.6						
割合					13%	38%	19%	63%	0%	13%



社会実装に向けた課題

- 金融サービスでは元々、消費者が多様に脆弱な状況にある
 - 情報の非対称性が高い中で、顧客の理解を得ることが必要
 - 顧客満足の判定期間が非常に長い
 - 取り扱う金額が群を抜いて大きい
 - 犯罪収益の差押え等のため、利用者を厳格に確認する必要
- そのため、強い業規制・行為規制の対象とされてきた。また、対面的な説明によって「顧客理解」を担保していた。デジタルサービスは「非対面」チャネルとしてより高リスクな扱い、サービスデザインに至るまで様々な制約・指導が存在
- スマホの時代に、非・金融サービス対比で使い勝手が悪い状況が発生。複雑な商品で手数料を高くする営業姿勢も、安さ・納得を求める消費者の敬遠を呼んだ
- Fintechはシンプルな商品を人間中心的に設計できたことで注目された。
とはいえ、今は情報感度の高い消費者向けが中心であり、インクルーシブなサービスを形成していけるかはまだまだ課題

- 手でしか付けられなかった家計簿の自動化
- キャッシュレス決済（電子マネー、カード）の使い過ぎ防止
- オンラインショッピングにおける支出の把握
- フィッシング詐欺等の検知
- 金融教育
- 経費精算（立替精算）の自動化
- 確定申告・経理の自動化

(参考) Xにポストされた不正利用検知の例

42

不正利用にいち早く気付くことも、連携があつてこそ

マネーフォワードで連携しているクレジットカードにAmazon USから不正請求が!!

問い合わせたら不正請求の可能性大とのことで、直ぐにクレカの停止と調査&補償申請しました
→間に合わないと言われ一旦支払い

連携のおかげで早く気づけたけど、不要なカードは海外旅行前にしっかり解約していきます

並べ替え	利用日の新しい順
JCB海外利用 AMZN MKTP US 利用国USA	
現地利用額	29,340
変換レート	¥146.729
2024/01/08 1回払い	¥4,305
利用者	本人様利用分
初回請求月	2024/02
2月以降支払金額	¥4,305
内)手数料	¥0
支払い総額	¥4,305
内)手数料	¥0
明細番号	印 コピー

マネーフォワードのおかげでクレカの不正利用に気づけました! マネーフォワード最高!

ダウンロード 入出金

検索

一覧

2023年6月28日(水)

!	APPLE COM BILL	¥-10,000
!	APPLE COM BILL	¥-10,000
!	APPLE COM BILL	¥-10,000

なんと、クレカの不正利用が発覚。
たった550円でも見逃さない。
マネーフォワードMeで毎日利用明細を見るからすぐに発覚できた。
(ちなみにほぼ電子決済で現金使ってないので一元管理できてます)

お金を守る気持ちが一層強くなった。

クレカの不正利用を防ぐのは難しい。
でもマネーフォワード(以下MF)に連携させておけば不正にすぐ気付くことができる。
ひと月以上前の利用が記載された明細みても見逃す可能性大。
利用後約1~3日でMFへ連携されるから、記憶が新しいうちに確認できて

【悲報】

クレジットカード不正利用されていました

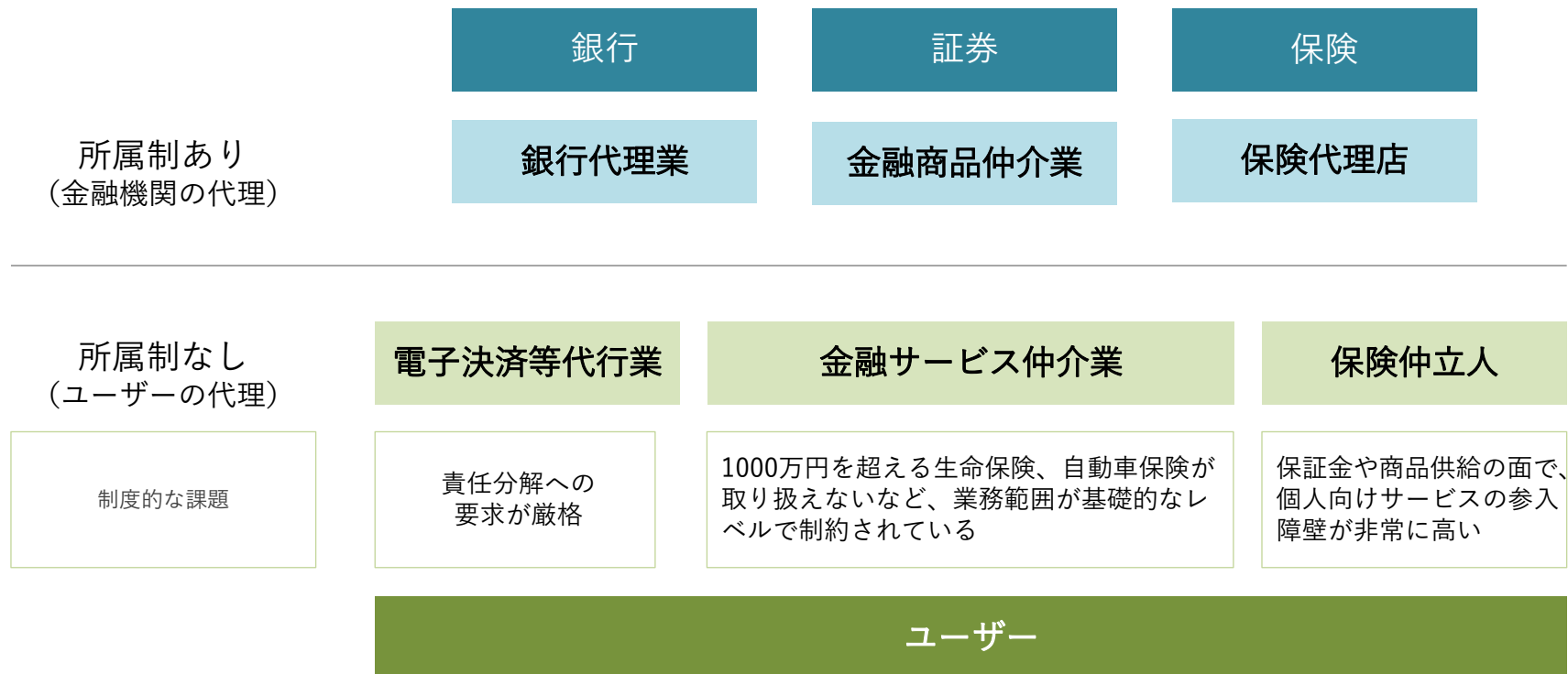
注意喚起を兼ねて一応経緯を書いておきます

おはとみかー!

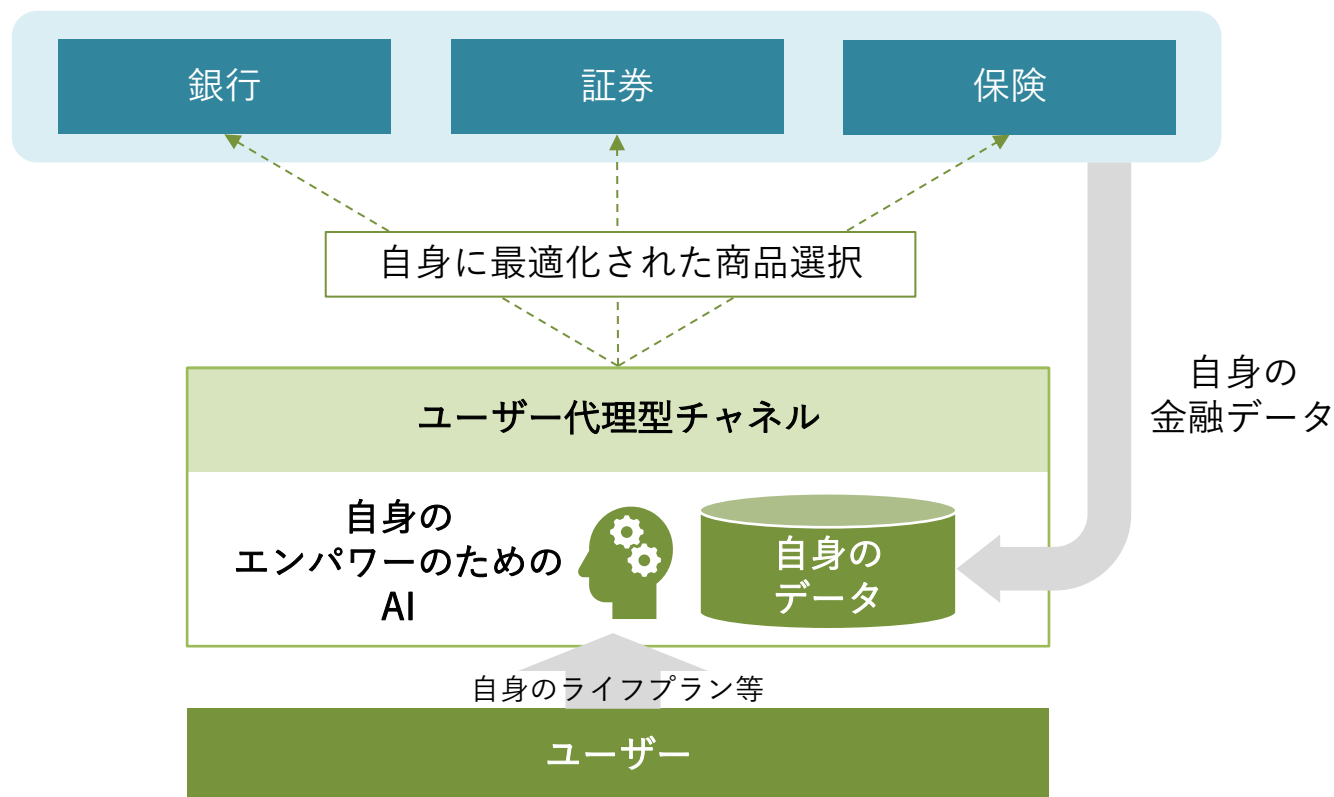
いま井上味楽さんのクレカ不正利用被害のツイートを見かけまして...
わたしも今不正利用の調査中なのですが、気づかなかつたら被害額増えてたかも...
私は、マネーフォワードのおかげで気づけました。マネーフォワードにまじで感謝です。
みなさん、素敵な一日をー!!

クレカの請求書は見ないけどマネーフォワードは見ているので直ぐに不正利用がわかった。
家計簿アプリは利用しておくとも便利かもしれない。
[#クレカ不正利用](#)

- 近年、金融機関の代理ではなく、ユーザーの代理者となるサービス群が制度上は登場（当社は電代業・金サ業を展開）
- 制度上、所属制ありの業態よりも利用体験が劣っており、消費者の選択をエンパワーすることはまだまだ難しい
- 技術は中立的なもの。どの立場でサービスを提供するかが重要な論点
- 利用者から直接課金するケースもあるが、金融サービス側からの間接課金もビジネスモデル上は必要な位置づけ（単体の助言業は中々成立せず）



- 自身のデータを元に、自分のために購買してくれる代理モデルが望まれる（CRMに対するVRMモデル、B2CではなくC2Bモデル）
- 自身のためのAIは、サービスのインクルージョンに向けた必須要素
- 所管官庁は「民民の」「Win-Winの」調整をといる事が多いが、機能・商品供給はシステム負担・競争懸念から中々オープンには行われない。消費者の利害も代表される場での政策検討が必要となる
- このようなサービスの実現を促進する／阻害しない法体系の整備が必要



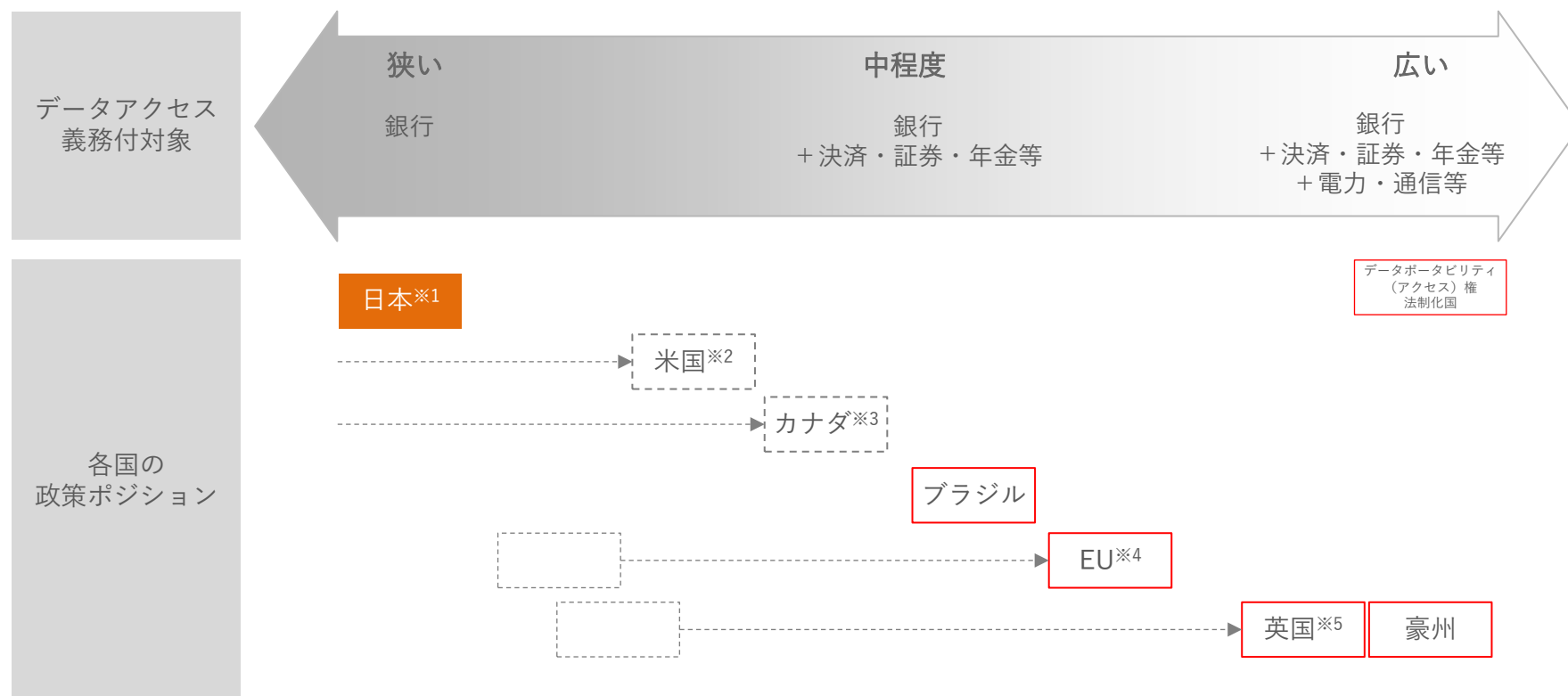
- 日本は銀行明細・クレカ明細などのデータが、本人に帰属するという権利がない。一方、自社データを進んで外部開放する事業者インセンティブも小さい
- 結果的に、利用者が依頼した家計簿からの代理アクセスに対して、課金を行う状況が（G7で唯一）発生している国となっている
- 強力な権利とするかは別として、消費者保護のためのデータアクセスを認めることが、消費者が安心して金銭管理を行っていくための大前提

【各国のデータアクセス権の比較表】

	日本	米国	カナダ	ブラジル	EU	英国	豪州
アクセス無償化	×	○	○（※1）	○	○（※2）	○	○
アクセス義務付対象情報							
銀行口座	△（※3）	○	○	○	○	○	○
クレジットカード	×	○	○	○	○	○	（調査中）
電子マネー	×	○	×	○	○	○	（調査中）
年金、保険等	×	×	○（※4）	○	○（※2）	△（※5）	×
電力、通信等	×	×	×	×	×	△（※5）	○

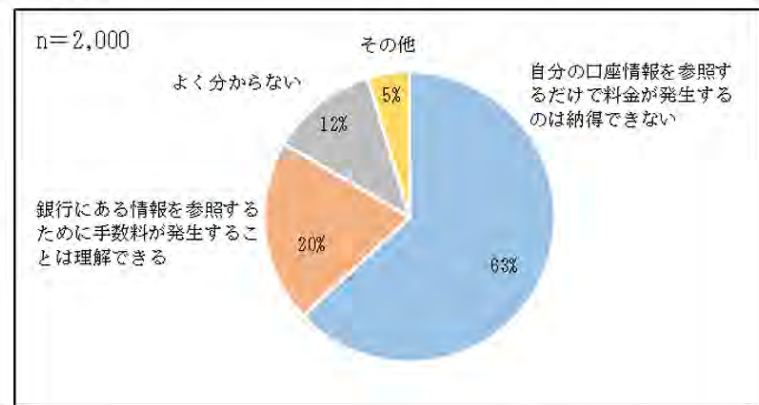
※1 「消費者承認下での対象データの「無料」共有」として検討中
※2 年金・保険等へのアクセスは有償も認められる
※3 アクセスは努力義務。都市銀行・地方銀行・第二地方銀行はほぼ全てAPIによるアクセスは可能となっている

※4 退職貯蓄、株、債券、投資信託、住宅ローン等
※5 審議中の法案ではアクセス義務付け対象は規則レベルで法案成立後に規定される想定



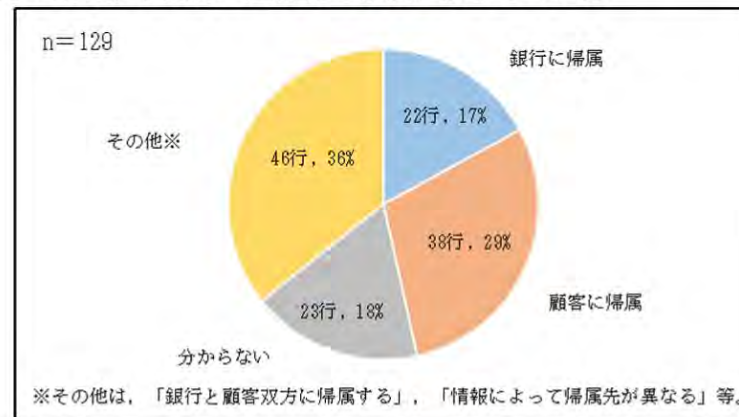
- ※1 アクセスは努力義務。都銀・地行・第二地銀はほぼ全てAPIによるアクセスは可能となっている
- ※2 消費者金融保護局が規制案を提示（2023年10月）
- ※3 財務省が2025年までに法案提出予定
- ※4 欧州委員会が決済サービス指令3（PSD3: Payment Service Directive 3）案を提示（2023年6月）
- ※5 英国議会でデータ保護及びデジタル情報法案審議中（2024年2月）

図表 4 自身の口座情報を参照する際に料金が発生することについてどのように考えるか



【出典】消費者向けアンケート結果

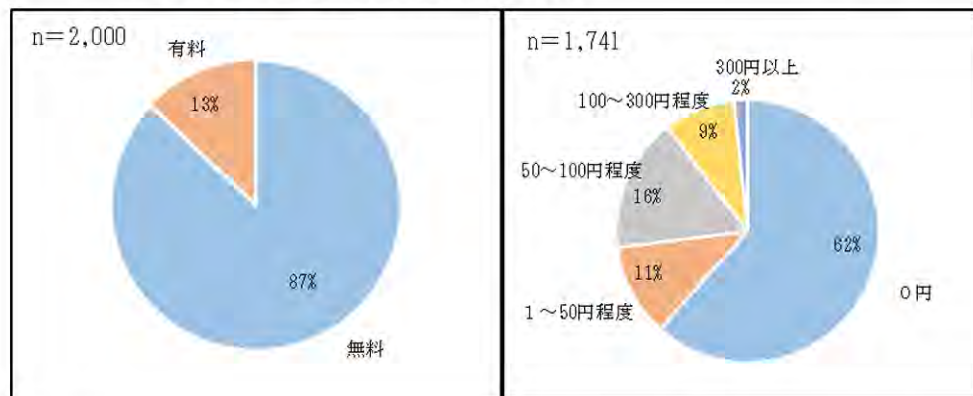
図表 24 自行が保有する銀行口座情報の帰属に関する考え方



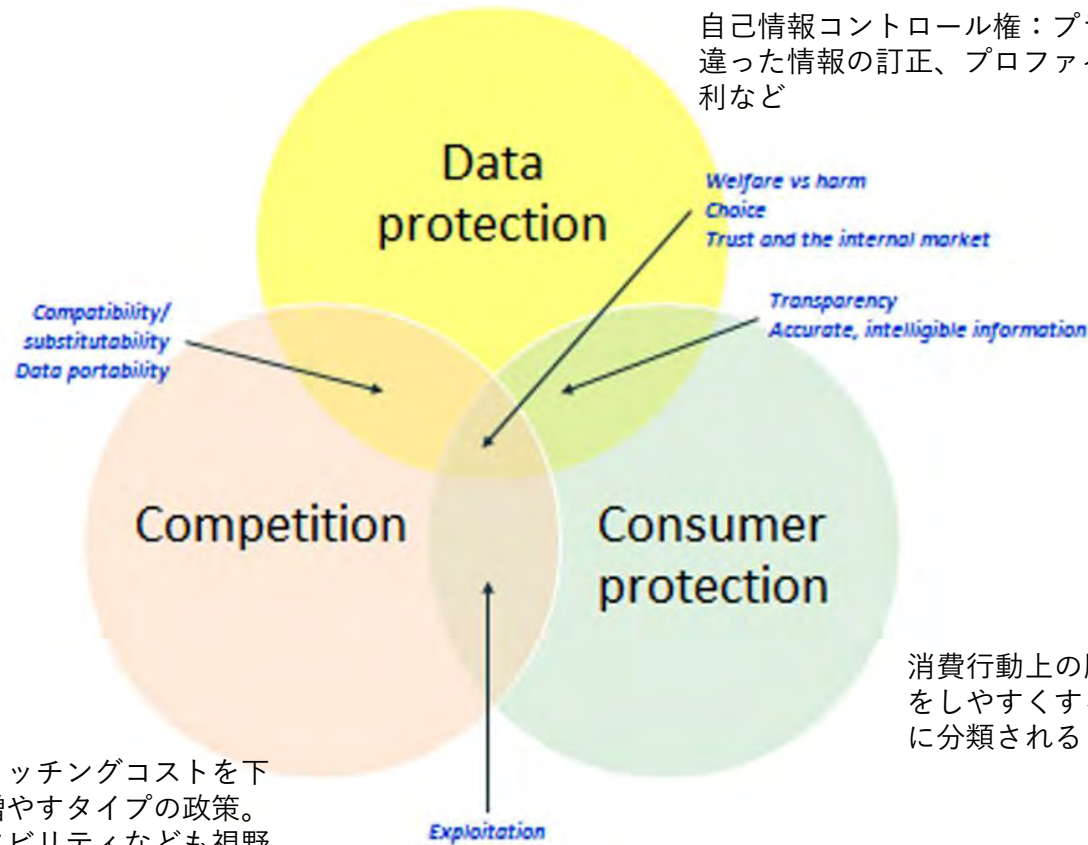
【出典】銀行向けアンケート結果

図表 2 無料又は有料プランのどちらを利用しているか (左)

図表 3 (無料会員向け) 現在と同様のサービス内容を利用できる場合に支払ってもよいと考える月額利用料 (右)



【出典】消費者向けアンケート結果



自己情報コントロール権：プライバシーの保護、間違った情報の訂正、プロファイリングを制限する権利など

消費行動上の脆弱性に対して、ツールを用いて保護をしやすいとする。クレジットカード負債などはここに分類される

1. 認可業などにおいて、スイッチングコストを下げ、消費者から見た選択肢を増やすタイプの政策。情報のみでなく、取引のポータビリティなども視野
2. プラットフォーマーにおける情報・取引の囲い込みに対して適用

- 欧州（PSD2）における口座に向けた情報アクセス権は、GDPRにおけるデータ・ライツが発端。同権利の発端は、ドイツを中心とするプライバシー保護思想
- 英国におけるオープンバンキング施策は、4行寡占への問題意識と、LIBOR不正に代表されるシティの不祥事への自浄作用としても生まれた
- 米国におけるAPI開放義務は、消費者保護が発端。リーマン危機の結果作られた、民主党肝煎りの消費者金融保護局（CFPB）が、金融における消費者保護を図る狙いがある

(参考) API標準化におけるコンFORMANCE・テスト 50

- API接続では、同意の取得、認可範囲の確認、セキュリティ強度などを高めることが、制度の信頼性担保のためにも重要
- 金融API接続の世界的な技術標準である、Open ID Foundation FAPIでは、検証テスト（コンFORMANCE・テスト）を実施することが条件に
- 消費者を不要な同意やセキュリティ上の脆弱性から守ることが可能となる

The screenshot displays the Open ID Foundation FAPI Conformance Testing interface. At the top, there are status indicators: 'WAITING' (green) and 'UNKNOWN' (grey). Below these, test details are listed:

- Test Name: fapi-rw-id2-client-test
- Variant: private_key_jwt
- Test ID: YT4MBiI2RB
- Created: Mon Oct 14 2019 12:41:52 GMT+0200 (Central European Summer Time)
- Description: my company client test
- Test Version: 3.2.7
- Test Owner: [User Icon]
- Plan ID: U9TmAUHQWmJc

A blue banner below the details states: "Successful test case scenario where response_type used is code id_token combined with MTLS encryption".

The 'Results:' section shows a summary: SUCCESS: 12, FAILURE: 0, WARNING: 0, REVIEW: 0, INFO: 1.

A blue banner below the results states: "This test is currently running. Values exported from the test are available below along with any URLs that need to be visited interactively."

The interface is divided into two main sections: 'Exported Values:' and 'Browser Interaction:'. The 'Exported Values:' section is highlighted with a red box and contains the following data:

Key	Value
accounts_endpoint	https://localhost:8443/test-mtls/a/your-company-name/open-banking/v1.1/accounts
account_requests_endpoint	https://localhost:8443/test/a/your-company-name/open-banking/v1.1/account-requests
issuer	https://localhost:8443/test/a/your-company-name/
discoveryUrl	https://localhost:8443/test/a/your-company-name/well-known/openid-configuration

A red arrow points from the 'Browser Interaction:' section to the 'Exported Values:' section.